



**講師：浜田 和幸**  
 参議院議員・国際政治経済学者

オフィシャルサイト

<http://hamadakazuyuki.com/>

浜田 和幸(はまだ かずゆき)

1953年生まれ

東京外語大学中国語学科卒、米ジョージ・ワシントン大学大学院で政治学博士号を取得。新日本製鐵、国際未来科学研究所代表を経て、現在参議院議員。総務大臣政務官、外務大臣政務官兼東日本大震災復興対策推進会議メンバーを歴任。次世代の党選挙対策委員長。

# 知られざる

# TPPの正体

特別セミナー開催

TPP参加で・・・

食料自給率が14%に低下？

軽自動車の税金が普通車並に？

農業部門の損失が10兆円超？

**TPP参加は本当に平成の開国なのか？**

**TPP締結にかけるオバマ政権の狙いとは？**

TPPは生産者だけでなく、全ての日本人に関わる問題です。正しい情報を得ることで正しい議論を。

**日時：平成27年4月2日（木）** 開場 18:00  
 開演 18:30

**場所：成東文化会館のぎくプラザ大ホール**

千葉県山武市殿台290-1（山武市役所向かい）

**入場無料**

聞き手：鈴木 まさや 次世代の党 千葉県議会第一支部長

昭和45年2月生まれ（45歳）

東京都大田区出身・横浜育ち

和光大学経済学部経済学科 卒業

成田空港南ロータリークラブ 会員

東金法人会・山武市商工会

山武市観光協会 法人会員

山武市内の有機篤農家との出会いをきっかけに、平成22年に山武市に移住。殿台で「ワイルドアスタートレーディング（株）」を創業。

山武市の行政問題に深い感心を持ち、平成27年1月にインターネットニュースサイト「山武ジャーナル」を開設。

オフィシャルサイト <http://suzukimasaya.info/>



鈴木まさや

当日参加可能ですが、予め入場整理券をお求めいただくとスムーズにご入場頂けます。整理券は成東文化会館のぎくプラザ・次世代の党千葉県議会第一支部で配布しております。

主催・お問い合わせ先：次世代の党 千葉県議会第一支部

〒289-1345千葉県山武市津辺490-1（連絡事務所） TEL: 050-5848-8158 FAX: 050-5880-9954

office01@suzukimasaya.info

**1. 現役世代、徹底応援!**

— 子育て世代を助け、子供を増やして豊かな日本へ

**2. ものづくり国家への回帰!**

— GDP世界2位を地方のものづくりの力で奪還

**3. 地方都市を消滅させない!**

— 意欲のある地方の徹底的に応援 安心して暮らせる地域に

**4. 自主憲法制定、国家を根本から建て直す**

— 外国人地方参政権反対、拉致問題解決、生活保護は日本人限定



鈴木まさや  
千葉県議会第一支部長



衆議院議員 平沼 赳夫 党首



最高顧問 石原 慎太郎

次世代の党は、次世代の人々のために「新保守主義」に基づいた改革を断行し、自立した国民・地域・国家をつくることを目標に掲げ、平沼赳夫党首、石原慎太郎最高顧問をはじめとする、真に国を思う国会議員らによって平成26年に設立された新党です。

**次世代の党 千葉県議会第一支部(山武市)の 重点政策**

さんむなるとう

**成東駅を「山武成東駅」に改称**

～山武市の知名度アップで人口減少をストップ～

知名度の低さが地域発展の妨げ

**「駅名」は最も効果の高いコマーシャル**

成東駅が「山武成東駅」になることで

- ・総武本線沿線の東京や千葉都市部の各駅でのアナウンス
- ・JR各駅、各線の路線図、時刻表などに「山武成東」と表示
- ・道路標示、地図、カーナビなどの表示も、段階的に「山武成東」に など、様々な分野で大きな効果が期待できる。

**山武市の知名度アップの効果は**

- ・「山武」を冠した農水産物や地域名産品のプレミアムが上昇
- ・他の地域から住民の転入(引っ越し・移住)の促進
- ・企業誘致の促進 など、現実的な経済効果が期待できる他

次世代の子供たちに、郷土に対する誇りが生まれる

**危機的な山武市の人口減少をストップ**

合併後9年で、人口は6万人から5万5千人に大幅減

知名度が上がれば、もっと生かせる山武市の魅力

- ・東京や成田空港への好アクセス
- ・有機野菜やイチゴなど、特色ある農産物
- ・九十九里の海、史跡・文化財、観光農園などの観光資源

山武市の持つ潜在的な力を活かして

今こそ「地方創生」を

**住民が安心して暮らせる地域医療を**

～国・県・市が連携し、安心できる救急医療体制を～

**「成東病院がなくなります!」はウソだった**

**白紙となった合併前の医療構想とは?**

地域の「医療過疎」解消を目指し、山武市合併前の3町1村と近隣自治体が合意して進められていた千葉県の医療構想の骨子

- ・域内に3次救急(高度医療)対応のセンター病院設置
- ・成東病院、大網病院は支援病院として整備
- ・救急搬送30分以上の事例ゼロを目指す

**山武市単独での成東病院独法化は**

**正しい選択だったのか?**

「さんむ医療センター」独法化5年で山武市の医療はどうなったのか。人口5万5千人の山武市が単独で一つの総合病院を維持・運営し、救急医療まで充実させることが本当に可能なのか。

- ・さんむ医療センターの医師不足は慢性化
- ・救急搬送に長時間を要する事例は解消されず
- ・さんむ医療センター運営に山武市は年4億円の負担

**命と健康を盾にとった政争に終止符**

**国・県・市町村一体で、真に住民のためとなる医療政策を**

次世代の党千葉県議会第一支部の医療政策

- ・山武市単独の医療政策は、抜本的な見直しを求める
- ・千葉県の医療構想にもう一度立ち返り、国・県・山武郡市が連携し、住民が安心できる広域救急医療体制確立を目指す
- ・「さんむ医療センター」の健全運営

次世代の党 千葉県議会第一支部長

**鈴木まさや サンデーミーティング開催**

開催日時：平成27年3月22日(日)・29日(日)

14:30～(入退出自由)

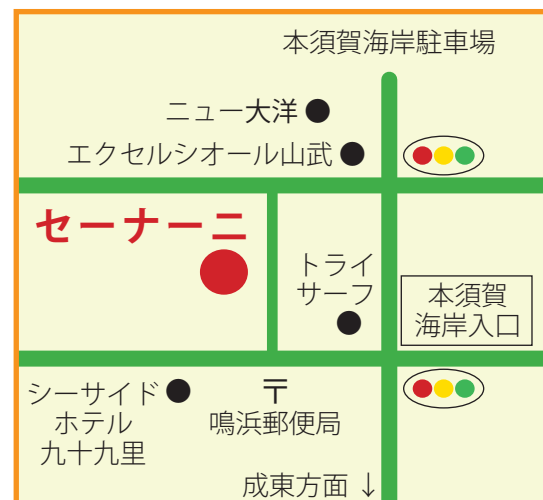
開催場所：セーナーニレストラン本須賀店

参加費：ワンドリンクご注文下さい

**予約不要**

お問い合わせ 次世代の党千葉県議会第一支部

TEL:050-5848-8158 office01@suzukimasaya.info



山武市本須賀3813-1  
0475-78-3768